

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
 埼玉県川越市上寺山 216-1
 〒350-0826 TEL.049(227)5588
 星野学園小学校
 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

自然に触れる二日間

一泊二日 富士・河口湖自然学習

六月十九日(金)・二十日(土)、河口湖で二・三年生の「夏の学校」が行われた。世界遺産に登録され、日本が誇る富士山に行くことは、これから子どもたちが国際的に活躍する場で、日本を紹介するための貴重な体験になった。また、少しの間だが親元を離れ、同級生または他学年の友達と生活を共にし、普段なかなか味わうことのできない大自然の中での体験を通して、子どもたちは一回りも二回りも成長したことであろう。



雨の中だからこそ、一步一步力強く踏みしめる。

梅雨の時期ということもあり、雨の中始まった夏の学校だが、二・三年生共に予定していた体験を行うことができた。二年生は洞窟体験、樹海散策、ボードコール作りを、三年生は富士山トレッキング、溶岩染めである。

梅雨の時期というの、カチカチ山の舞台が、一番楽しみにしたこともあり、雨の中始まったカチカチ山。洞窟探検は狭い洞窟の中を各、ロープウェイに乗車し、暗い洞窟の中を頼り、天の山頂に登った。雨のため、山頂から富に進んでいく。合図で、土山や河口湖を一望、全員が一斉に灯りを消し、「真つ暗闇」を体験した。また洞窟の中、ゴンドラから見た下ろす大自然に、子どもたちは、ガラスには響くかという実験を行った。子どもたちは、「響く」と予想し、大

声を出し叫んだが、結果、全く声は響かなかった。予想を覆す結果に子どもたちは大変驚いていた。実際に体験し、本物に触れたからこそ学習できたことは、子どもたちの心にずっと残ることであらう。その後の樹海散策は、雨が降りしきりの中であつたが、話を一生懸命聞こうと前傾姿勢になり真剣な眼差しで学習していたのが印象深い。この樹海にて拾ったという鹿の角を見せていただき、感触を自分の手で確かめていた。ボードコールというのは、穴の開いた木材と金属のねじで鳥の鳴き声に似た音を出すことができるというものであるが、皆面白そうにひねっていた。

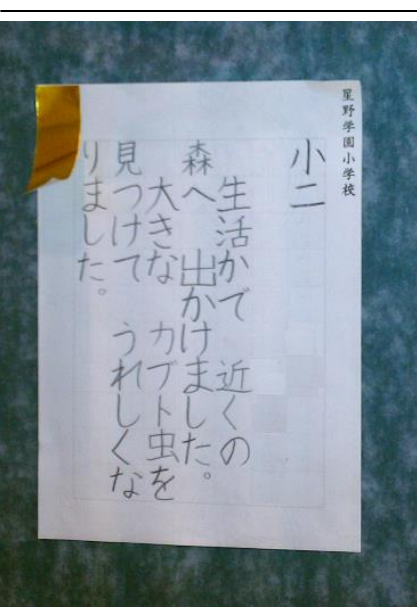


暗い洞窟でも、友達と一緒になら安心。

三年生の富士山トレッキングは小雨であつたため近いコースで行った。山道を登り、松の実や天狗岩など富士山ならではの自然を大いに楽しんでいた。また布を溶岩の色で染めていく溶岩染めでは自分のオリジナルのデザイン

大切な思い出の品に描いた。クレヨンで下書きをして、その上から溶岩で模様の塗っていく。出来上がったものは家に持ち帰り、ランチマットにして愛用しているそう。夏の学校のだ。夏の学校の

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ



練習の成果を、出し切りました。

三年生の富士山トレッキングは小雨であつたため近いコースで行った。山道を登り、松の実や天狗岩など富士山ならではの自然を大いに楽しんでいた。また布を溶岩の色で染めていく溶岩染めでは自分のオリジナルのデザイン

三年生の富士山トレッキングは小雨であつたため近いコースで行った。山道を登り、松の実や天狗岩など富士山ならではの自然を大いに楽しんでいた。また布を溶岩の色で染めていく溶岩染めでは自分のオリジナルのデザイン

大切な思い出の品に描いた。クレヨンで下書きをして、その上から溶岩で模様の塗っていく。出来上がったものは家に持ち帰り、ランチマットにして愛用しているそう。夏の学校のだ。夏の学校の

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ

大切な思い出の品に描いた。クレヨンで下書きをして、その上から溶岩で模様の塗っていく。出来上がったものは家に持ち帰り、ランチマットにして愛用しているそう。夏の学校のだ。夏の学校の

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ



溶岩染めに挑戦。モデルは富士山です。

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ



緊張の瞬間。さあ、このボールの行方は！

硬筆

星野キックベース クラシック続報!

七月一日(水)、星野が優勝となった。B組と六年C組である。結果は、六年C組が優勝となった。勝因は、二十分休みや昼休みのクラスの練習量であった。常に、休み時間になるとクラスで練習を重ねている姿が見受けられたという。この大会の後、児童たちは三学期に行われるサッカー大会「星野カップ」に向けて、練習を重ねている。これから活躍がますます楽しみである。(赤田)

今年も一学期の書写の授業の中で、埼玉県硬筆展覧会に向けての硬筆の練習が行われた。本校では、書写専科の教員の指導のもと、授業や家庭学習の中で練習に取り組む。五月中旬に各学年のお手本が配られると、手にまめができるほど熱心に自主練習をする子どもも出てくる。練習をするほど上手くなる硬筆は、子どもたちのやる気を引き出す、よいスイッチ

春の農場体験

今年も星野学園小学校の低学年児童たちは田畑に行き、農場体験を行った。二年生が五月二十七日(水)に田植えを、一年生が六月十日(水)に苗植えを行った。



三十度の晴天の中、三本ずつつまんて植えていきます！

星小の教科指導

第四回「英語」

本校では、英語を英語のまま理解し、使える言語として習得すること、コミュニケーション能力をつけることを英語ではお辞儀をせよ、見ながら聞き、聞かずにアイコンタクトをして、見ながら考えることを笑顔で挨拶を交わす。繰り返す。言葉は文化英語を英語のまま理解の一部であり、日本とすると、文化を包括した欧米の文化的に学習するというにも、英語を通じて慣れ親しんでもらいたいという意図がある。分

稲の田植えは行われた。以前から二年生はバケツ稲を育てていたため、田んぼで田植えができるのを楽しみにしていた。苗の束をもらいA組、B組と一列にずらりと並ぶ。三本ずつの束で根元を持ち植えていくことを教えていただき、いざ田んぼの中へ！裸足に伝わる冷たくてぬめつとした何とも言えない泥の感触に悲鳴が飛び交う。蛙も児童たちが田んぼに入ってきたのを喜ぶかのようにピョンピョン飛び跳ねる。J



どう植えようか考え中です。

芋の苗植えでは、植え方にはいろいろな方があります。制服で登校する。制

更衣

(篠原・赤田)

星野学園小学校では、通学時に決められた制服で登校する。季節によって、方々に教えていただき夏服と冬服を着用する。ピョン飛び跳ねる。蛙も児童たちが田んぼに入ってきたのを喜ぶかのようにピョンピョン飛び跳ねる。J



ネイティブの先生と少人数での英会話を楽しみます。

芋の苗植えでは、植え方にはいろいろな方があります。制服で登校する。季節によって、方々に教えていただき夏服と冬服を着用する。ピョン飛び跳ねる。蛙も児童たちが田んぼに入ってきたのを喜ぶかのようにピョンピョン飛び跳ねる。J

ながら、児童たちは真剣に植えていった。畑の畝を崩してしまわないように、畝と畝の間を上手に歩いて移動し、楽しく苗植えを行った。次に畑や田んぼに来るのは、収穫の時だ。自分で植えた苗が成長し、それを収穫することが出来る。秋にお米の収穫に行くのが待ち遠しい。

今年度は、一週間の移行期間を経て、六月八日(月)に夏服へ完全移行した。男子の夏服は、濃紺の釦がアクセントのシヨールカラーのシャツに半ズボンの組み合わせ、女子の夏服は、衿の周囲のテーブと濃紺のブ

校外学習

前に学習したことを踏まえ、川越大火や、蔵造りの家の構造、昔の川越の様子などについて学習した。その後、川越城本丸御殿を見学した。江戸時代の様子が再現された部屋や、天井について、興味津々であった。生憎の雨となり、蔵造り

三年生は、六月三日(水)に、校外学習として川越めぐりを行った。まず、川越市立博物館で川越市の歴史について、職員の方から説明を受け、事組んでいる。本校の縦割り清掃のねらいは、次の二つである。一、学年を超えた児童のつながりや学校のまとまりを強める。二、社会性を育て、好ましい人間関係を作ることにできる未来のリーダーを育てる。異学年で活動することで、上級生が下級生をリードしながら活動し、上級生としての自覚や下級生への思いやり、下級生には、上級生への感謝や尊敬の気持ちを育てていく。



爽やかな制服で元気に登校！

縦割り清掃

本年度から新しく三、六年生による縦割り清掃が始まった。児童たちが振り分けられた教室などに行き、異学年で協力して自分たちの学校を綺麗にしようと取り



異学年の教室もしっかり清掃します。

社会科見学

六月十七日(水)、五年生は川越狭山工業団地内の本田技研工業、図書印刷の二社を訪れた。本田では、ビデオによる説明を受けた後、工場内の実際の溶接や組み立ての作業などを見た。目

六月十七日(水)、五年生は川越狭山工業団地内の本田技研工業、図書印刷の二社を訪れた。本田では、ビデオによる説明を受けた後、工場内の実際の溶接や組み立ての作業などを見た。目撃した。江



昔の川越の模型に興味津々。



熱心にメモを取る子たち。